

令和5年度 長崎県学力調査結果の概要

<速報版>

調査の概要

1 調査目的

本県独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、各学校における児童生徒への教育指導の充実や改善等に役立てるとともに、県及び市町の教育施策の成果と課題を検証して学力向上対策の一層の充実を図る。

2 調査実施期間・調査内容

令和5年4月18日(火)

- ・ 小学校調査 (国語・算数：第5学年：40分)
(理科 : 第6学年：40分)
- ・ 中学校調査 (国語・数学：第2学年：45分)

3 調査実施校数及び児童・生徒数

(1) 調査実施校数 476校

(2) 調査実施児童・生徒数

小学校第5学年	10,597人
小学校第6学年	10,810人
中学校第2学年	10,065人

結果の概要

1 出題の考え方

学習指導要領が目指す学力像を示し、授業で身に付けさせたい資質・能力に視点をあてたもの。

学習指導要領が求める基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を問うもの。

学習指導要領の内容の定着状況を把握するとともに、過年度の課題を検証する。

各教科の平均正答率の目標値（以下「目標値」とする）を60%とする。

2 県全体の平均正答率（%）

	小学校			中学校	
	第5学年		第6学年	第2学年	
	国語	算数	理科	国語	数学
令和5年度	69.4	69.7	64.7	59.8	53.5
令和4年度	64.6	60.9		54.3	55.8
令和3年度	60.0	64.9		61.6	49.2
令和2年度 参考値	51.7	57.8	55.7	62.4	49.2
自校					

小学校においては、国語、算数及び理科のいずれも目標値を上回った。
中学校においては、国語と数学はともに目標値に至らなかった。

参考 県立中学校（3校）

	国語	数学
令和5年度	85.6	88.1

3 各教科における課題

(太字は令和4年度に設定した重点課題)

		課 題	問題番号	平均正答率	
				県	自校
小学校	国語	条件に合わせて書く	1二	33.7	
		登場人物の気持ちの変化を想像する	2三	56.6	
	算数	目的に応じてデータを収集、分類整理し、データの特徴を読み取る	3(2)	30.8	
		式に表したり式に表されている関係を考察したりする	4(4)	44.2	
	理科	実験結果を基に分析、解釈し、考えを記述する	4(1)	49.3	
		より科学的な考えにするために検討・改善する	3(3)	47.1	
中学校	国語	話の展開を捉え、条件に合わせて書く	2三(ア)	65.5	
			(イ)	28.6	
		登場人物の様子を捉える	2七	35.5	
	数学	データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断する	9(2)	34.9	
問題解決の方法を数学的に説明する		6(2)	31.5		

2三 登場人物の気持ちの変化を想像する

- ・登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができるかどうかをみる問題です。

三 川田さんは、「もうすぐ雨に」を読み、しよいかいする文章を書いています。次の「川田さんの文章」の A の中に入る内容として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【川田さんの文章】

わたしは、「もうすぐ雨に」という物語をしようかいます。

この物語では、チリンという音が鳴ると、動物の音が聞こえるというふしぎな出来事が数回起こります。

最初は、動物の言葉が、分かればいいのになあ」と言っていた「ぼく」が、ふしぎな出来事を通して、最後には、最後まで読むと、雨がやんだ後に広がる青空を見たときにさわやかな気持ちになります。ぜひ読んでみてください。

A

1 動物の音が聞こえなくても、いつ雨が降り出すか分かるようになります。

2 動物の音が聞こえなくても、動物の思いをよく考えることができるようになります。

3 動物の目をじっと見るだけで、チリンという音が聞こえるようになります。

4 動物の目をじっと見るだけで、動物の音を聞くことができるようになります。

【正解】1

【解説】この問題は、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができるかどうかをみる問題です。本文の「もうすぐ雨に」は、動物の音が聞こえるというふしぎな出来事が数回起こります。最初は、動物の言葉が、分かればいいのになあ」と言っていた「ぼく」が、ふしぎな出来事を通して、最後には、最後まで読むと、雨がやんだ後に広がる青空を見たときにさわやかな気持ちになります。ぜひ読んでみてください。

【川田さんの文章】

わたしは、「もうすぐ雨に」という物語をしようかいます。

この物語では、チリンという音が鳴ると、動物の音が聞こえるというふしぎな出来事が数回起こります。

最初は、動物の言葉が、分かればいいのになあ」と言っていた「ぼく」が、ふしぎな出来事を通して、最後には、最後まで読むと、雨がやんだ後に広がる青空を見たときにさわやかな気持ちになります。ぜひ読んでみてください。

A

1 動物の音が聞こえなくても、いつ雨が降り出すか分かるようになります。

2 動物の音が聞こえなくても、動物の思いをよく考えることができるようになります。

3 動物の目をじっと見るだけで、チリンという音が聞こえるようになります。

4 動物の目をじっと見るだけで、動物の音を聞くことができるようになります。

【正解】1

【解説】この問題は、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができるかどうかをみる問題です。本文の「もうすぐ雨に」は、動物の音が聞こえるというふしぎな出来事が数回起こります。最初は、動物の言葉が、分かればいいのになあ」と言っていた「ぼく」が、ふしぎな出来事を通して、最後には、最後まで読むと、雨がやんだ後に広がる青空を見たときにさわやかな気持ちになります。ぜひ読んでみてください。

<改善のポイント>

登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像する本問題の正答率は56.6%、無答率は3.0%という結果でした。

文学的な文章において、登場人物の気持ちは、場面の移り変わりの中で揺れ動いて描かれることが多いため、複数の場面の叙述を結び付けながら、気持ちの変化を見だし想像していく必要があります。指導に当たっては、〔第3学年及び第4学年〕「C読むこと(1)」の「イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること」を基に、「エ 登場人物の気持ちや性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること」を指導することが大切です。

自分一人の読みでは気付かないことでも、交流を通して気付くことがあります。気になる叙述を基にして、考えたことを交流する場面を設定することで、登場人物の気持ちの変化をより具体的に想像することができるようにすると効果的です。その際には、目的意識をもって交流させることが大切です。 【読解力育成に関連する視点：推論 P14参照】

正答率(%)

県	56.6
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

小学校算数

- 3 (2) 目的に応じてデータを収集、分類整理し、データの特徴を読み取る 重点課題
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することができるかどうかを見る問題です。

- 3 5年生のあいりさんの学級では、みんながもっとなかよくなるために、学級遊びをすることにしました。

- (1) あいりさんたちは学級で話し合い、学級遊びを次の4つの中から2つに決めることにしました。

おにごっこ かくれんぼ ドッジボール ビンゴ

そこで、20人の学級全員にアンケート調査をしました。そして、希望する遊びを1人に2つずつ選んでもらい、結果を下の表にまとめました。
表の中の ア に入る数を書きましょう。

希望する遊び					
遊び	おにごっこ	かくれんぼ	ドッジボール	ビンゴ	合計
人数(人)	11	9	14	ア	40

- (2) 次に、あいりさんたちは、選んだ人がいちばん多いドッジボールをもとに、アンケート調査の結果を、右の一人一人が選んだ遊びに整理しました。



一人一人が選んだ遊びを見て、20人全員の希望した遊びが1つは選ばれるように、2つの遊びを決めたいね。

2つの遊びを、ドッジボールと イ に決めると、20人全員の希望した遊びが、1つは選ばれるね。

まいさんの考えの イ にあてはまる遊びは、おにごっこ、かくれんぼ、ビンゴのうちどれですか。
右の一人一人が選んだ遊びを見て、遊びの名前を1つ書きましょう。

<改善のポイント>

本問(2)の正答率は、今回の調査で最も低い30.8%であり、「全員の希望した遊びが1つは選ばれるように遊びを決める」という目的に応じて収集したデータから、特徴を読み取ることに課題が見られました。

「データの活用」領域の学習では、「図書室でもっと本を借りてもらうにはどうしたらいいか」などの問題意識に対して、児童が自らデータを収集し、表やグラフを用いて整理し、解決策や効果的な改善策を考える活動(統計的な問題解決活動)を行うことが大切です。その過程で、目的に応じてデータを収集する力、分類整理する力、データの特徴を読み取る力等が育っていきます。

なお、例えば低学年では、みんなの好きな果物などを絵や図(第1学年) 簡単な表やグラフ(第2学年)に表すなど、系統的に学習を進めていくことが大切です。

また、目的に応じた統計的な問題解決活動は、他教科の学習や学級活動、委員会活動等と関連させることで、効率的・効果的な学習となります。

【読解力育成に関連する視点：イメージ同定、推論 P14参照】

正答率(%)

県	30.8
市町	
自校	

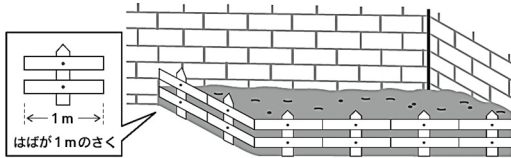
<自身の授業改善のポイント>

4 (4) 式に表したり式に表されている関係を考察したりする **重点課題**
 ・数量関係を、 と を用いて式に表すことができるかどうかをみる問題
 です。

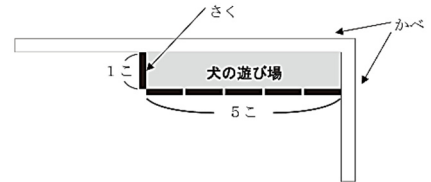
4 ゆうさんとだいすけさんは、図形の学習を生かして、きょうみをもったことに
 取り組んでいます。



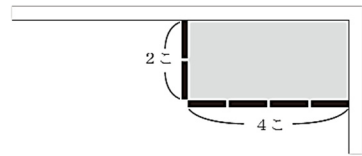
ぼくは、家の庭に、四角形の形をした犬の遊び場をつくらう。
 なるべく広くつくりたいな。
 材料は、はばが1mのさくが、6こ使えるよ。



たてにさくを1こならべると、横にはさくが5こならぶね。



たてにさくを2こならべると、横にはさくが4こならぶね。



たてと横にならぶさくの数をまとめた下の表の、ア、イ、に当てはまる数を
 答えましょう。

たてにならぶさくの数(こ)	1	2	3	4	5
横にならぶさくの数 (こ)	5	4	3	ア	イ

(4) たてにならぶさくの数に□こ、横にならぶさくの数に○ことして、□と○の
 関係を式で表しましょう。

<改善のポイント>

本問の正答率は44.2%、令和4年度と同趣旨問題における正答率も44.5%であり、
 改善が必要な内容です。

2つの数量(たてにならぶさくの数、横にならぶさくの数)の関係を式に表すには、
 表の数値を横に関連付けてみるだけでなく、縦に関連付けてみる必要があります。指
 導に当たっては、児童が多様な見方・考え方に気付くことができるように、表から見い
 だした「変化や対応の特徴()」について、説明する活動を設けることが効果的です。
 その際、「友達に正しく分かりやすく伝える」という意識を持たせることが大切です。
 例えば、矢印を用いて変化の特徴を表す、「たてにならぶさくの数+横にならぶさくの
 数=6」と言葉の式で表現するなどの工夫が生まれ、数量の関係についての理解が深ま
 ります。

変化の特徴：表を横に関連付けてみて見いだせる特徴

例 たてにならぶさくの数が増えると、横にならぶさくの数も減る

対応の特徴：表を縦に関連付けてみて見いだせる特徴

例 使えるさくの数6からたてにならぶさくの数1をひくと、横にならぶさくの数5になる

【読解力育成に関連する視点：イメージ同定、推論 P14参照】

正答率(%)

県	44.2
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

4 (1) 実験結果を基に分析、解釈し、考えを記述する **重点課題**

・提示された情報を分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問題です。

4 ただしさんとゆうこさんが、卓球をしようとしたところ、ピンポン玉がへこんでいることに気づきました。

ゆうこさん: へこんだピンポン玉をもとの形にもどすためには、どうすればいいのかな。

ただしさん: ピンポン玉のへこんだ側の反対側をおしてみたらどうかかな。(図1)

ゆうこさん: 反対側もへこんでしまって、うまくいかないね。(図2)

ただしさん: ピンポン玉の中から、力を加えることができればいいのにな。なんとかしてできないかな。(図3)



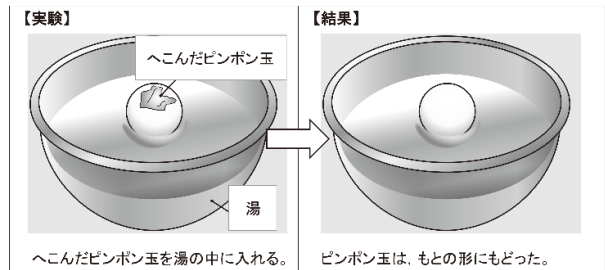
ゆうこさん: そういえば、昨日、給食のパンのふくらがぼんぼんにふくらんでいるのを見たよ。(図4)



ただしさん: ゆうこさんの席は、日光がよくあたるから、ふくらの中の空気があためられてふくらんだのではないかな。

ゆうこさん: へこんだピンポン玉の中の空気をあためたら、もとのピンポン玉の形にもどるかもしれないね。

ただしさんたちは、お湯を使って、次のような【実験】を行いました。



ゆうこさん: へこんだピンポン玉をお湯であためたら、もとの形にもどったよ。

ただしさん: 【結果】をもとに考察すると、へこんだピンポン玉がもとの形にもどったわけがわかりそうだよ。

(1) 【結果】をもとに考察して、「ピンポン玉がもとの形にもどったわけ」を【空気】【体積】という2つの言葉を使って説明しましょう。

ピンポン玉の中の から。

<改善のポイント>

実験結果を基に考察し、「ピンポン玉がもとの形にもどったわけ」を記述する本問の正答率は、49.3%でした。

実験結果を基にして、空気を温めると体積はどうなるのかについて分析、解釈できなかったことが課題だと考えられます。

指導に当たっては、実験結果から考えられることについて、自分の言葉で記述する活動を設けることが大切です。その積み重ねによって、児童は、実験結果を基に分析、解釈し考えを記述できるようになっていきます。

【読解力育成に関連する視点：推論 P14参照】

正答率 (%)

本県	49.3
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

3 (3) より科学的な考えにするために検討・改善する **重点課題**

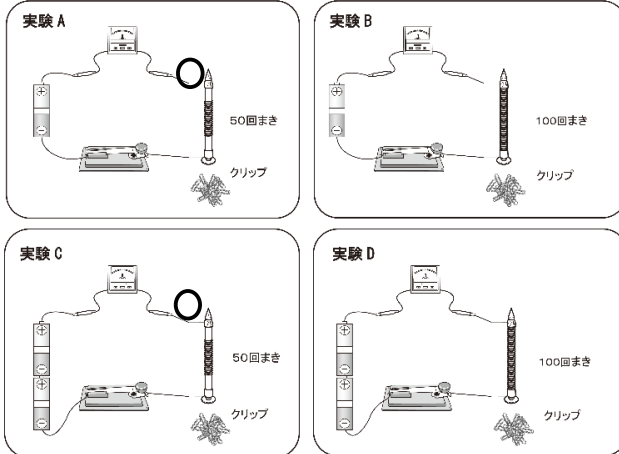
・実験結果と予想から、自分の考えを検討・改善することができるかどうかをみる問題です。

3 だいちさんたちのグループでは、電磁石の性質を利用して、図1のような魚つりゲームをつくりました。しかし、実際に電磁石のAの部分で、「魚のまげい」のイの部分に近づけると遠ざかってしまい、つり上げることができませんでした。
だいちさんたちは、その原因について話し合いをしています。

【だいちさんの予想】と【ももさんの予想】をたしかめるために、下のような【実験】をそれぞれ3回行い、【結果】を表にまとめました。

50回巻の図は、100回巻のエンメル線の長さと同じにする必要があるため修正しています。

【実験】



【結果】

実験A	1回目	2回目	3回目	実験B	1回目	2回目	3回目
クリップの数	3	3	4	クリップの数	8	9	8
実験C	1回目	2回目	3回目	実験D	1回目	2回目	3回目
クリップの数	9	7	8	クリップの数	12	11	13

(3) 【だいちさんの予想】と【ももさんの予想】をたしかめるためには、どの【実験】とどの【実験】をくらべるとよいですか。また、その【予想】は正しかったですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

	だいちさん	ももさん	
【予想】	導線の巻き数をふやしても、電池の数が同じだったら、電磁石の磁力は変わらないと思う。	電池の数をふやして、電流を大きくすると、電磁石の磁力は強くなると思う。	
1	くらべる実験 【予想】	だいちさん 実験Aと実験B 実験Cと実験D 正しくなかった	ももさん 実験Aと実験D 実験Bと実験C 正しかった
2	くらべる実験 【予想】	だいちさん 実験Aと実験D 実験Bと実験C 正しくなかった	ももさん 実験Aと実験C 実験Bと実験D 正しかった
3	くらべる実験 【予想】	だいちさん 実験Aと実験D 実験Bと実験C 正しかった	ももさん 実験Aと実験B 実験Cと実験D 正しくなかった
4	くらべる実験 【予想】	だいちさん 実験Aと実験B 実験Cと実験D 正しくなかった	ももさん 実験Aと実験C 実験Bと実験D 正しかった

<改善のポイント>

実験結果と予想を基にして、電磁石の磁力を強くする実験と、正しい予想の組み合わせを選択する本問の正答率は、47.1%でした。

考察の質を高めるためには、実験結果だけで考察するのではなく、予想に立ち返って自分の考えを検討・改善することが重要になります。

指導に当たっては、実験結果の「共通点・差異点」を整理するだけでなく、予想に立ち返って、自分の考えの加除・修正をするよう促しましょう。その積み重ねによって、児童は、理科の見方・考え方を働かせて、より科学的に問題を解決することができるようになっていきます。
【読解力育成に関連する視点：同義文判定・イメージ同定 P14 参照】

正答率 (%)

本県	47.1
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

2三 話の展開を捉え、条件に合わせて書く **重点課題**

・登場人物の相互関係や心情の変化に注意して読み、描写を基に内容を捉えることができるかどうかをみる問題です。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「どんべえは、私が生誕三、四か月のころから育ててきたメスのヒツマである。あるとき「私」のケツトの中に入ったおやを捜そうとした。「どんべえ」は、初めて攻撃をしかけてきた。後足で立ち、肩を怒らせた。「どんべえ」は、明らかに驚きをもって「私」に反応してたのだった。

いつかはくる、そのようなときがくる——私は習慣はしていた。子ぐまはやがて成長し、実の母親とさかみ合いをして子別れの儀式をすませるのだ。むちで講教をしない限り、いつかはそんなときがくる。親しければ親しいほど、そのつぎならぬ衝突が避けられぬ。

私はどんべえをにらみつけた。
① どんべえはどの奥から、クハ、クハ、と聞こえる攻撃音を出した。それは私たちが親しい関係にならぬときに聞いて以来、絶えて久しく私やヒツマには、アびせられたことのない声であった。
私は踏みこんだ。
「ふざけるな。」
しかりとばしよ。

このおれに対して、攻撃をしかけてくるなど何事であるか。怒りがむらむらとこみあげてきた。ふざけるな。冗談じゃねえや。なめられてたまるか。
踏みこむと、どんべえは後ずさった。そして、自分が後退したとくに、自ら腹を立てたようだった。
クッ、ハッ。
攻撃音が激しくなると、顔の縦じわがいつそう深くなった。きはがもくつきり見えた。唇がめくれあがっている。奥歯をこすり合わせる音がした。

私は危険を感じた。
同時に、すでに身をひくことはできないと感じ取っていった。一歩後退するのは死につながるだろう。ましてや安全な所へ出ようと後ろを見れば、くまはらびかかってくるにちがいない。それは親しきとは別のものだ。いつかは力と力で対決しなければならぬ野性の論理である。
死か——

それもよからうと私はちらと思つた。小さいころから、手塩にかけ育てた友人にばらばらにされるのは、#カゴロウにふさわしい。私はにやりとした。その笑いをほおから消すと、しんと落ち着いた心境になった。すでに自分の生や死は問題ではなかった。②
この瞬間を基準に生きてやれ——そういう決意のようなものが怒りといつしになつて胸の内であつた。目がかがやくのが自分で分かつた。私は自分が透明になつた気がした。

どんべえは私にとびかかろうとした。けれども、④ 何かに制せられ、
グッ、フ……。
④ ライオンみたいなにはえた。それは私が初めて聞く、雄々しい、野郎らしい、咆哮だった。
攻撃にストップをかけたものは、たぶん私との生活の積み上げだつたらう。けれどもそれにあまえていい場合ではなかった。殺るか殺られるか。洗滌をつけねばならぬ瞬間が刻々と近づいている。

⑤ 私は踏みこんだ。無言で、びとみに力をこめ。
どんべえは後退した。
「このやがら。」

三——線部⑤「今、この瞬間を最高に生きてやれ」について、次のようにまとめました。()に入る適切な言葉を、文章中から、それぞれ指定された文字数で抜き出しなさい。

○ もはや自分の(ア 三字)に対するこだわりは消え、ただひたすらに「どんべえ」と(イ 二字)しなければならぬという思いに至つた、ということを表している。

<改善のポイント>

本県の重点課題である「話の展開を捉え、条件に合わせて書く」に関わる問題です。大問2の正答率は、三(ア)が65.5%(無答率13.2%)でした。一方で、(イ)の正答率は28.6%(無答率18.0%)と最も低い結果であり、約半数の生徒が間違つた言葉を抜き出して解答していました。

話の展開に沿って登場人物の相互関係や心情を捉えるためには、文章中に用いられている表現や、登場人物の心情を表す語句の意味・使い方に対する認識を深めることが必要です。言葉の使い分けや表現について整理する学習活動を、「読むこと」の学習過程に位置付け、調べたことを記録したり、短い例文を作ったりすることで、話や文章の中で使うことができるように指導することが大切です。【読解力育成に関連する視点：同義文判定 P14参照】

正答率(%)

	2 三(ア)	2 三(イ)
県	65.5	28.6
市町		
自校		

<自身の授業改善のポイント>

2 七 登場人物の様子を捉える

- 各場面と登場人物の行動や情景等の描写とを結び付けて、内容を解釈できるかどうかをみる問題です。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

衝撃がもたらしたこぶしに集中し、指の骨が折れた感じがした。「ぼかくまめ。」私はどなった。あまりにもしんけんであったため、声が割れ、どが痛んだ。なぐられたどんべえは、うろたえる表情をうかべた。しりを後ろに引く。下から見上げる目つきが卑になる。勝った、と私は自信を持った。勝ち負けを争う勝負事ではないけれど、逃げようのない形で対決した二つの命の間に結論が出たのである。私はさらに踏みこんで、右フックを振り下ろした。どんべえは首を振ってさげ、右フックはみごとに空を切った。「やろうめ。」私はもう一発きついパンチを見おろすと、こぶしを引き上げる。と、どんべえが逃げた。どんべえは、プールの中へ飛びこんだ。水から顔だけを出し、唇をとんがらかして、あまくくもった声で長く鳴いた。その前に仁王立ちになり、「このやろう、どんべえめ。好き勝手をするよと承知しないぞ。」しかると、どんべえは、首を曲げ、唇の両端を下へさげて、まるでガムでもかむように、くちやくちやくと舌を鳴らし始めた。それはどんべえが幼時に見た、こめんなさいのしくさであった。大きなくまが、こめんなさいを。「もうよし、おいで。」私は涙声になり、優しく言った。

どんべえはま、顔を曲げ、よだれを流し続けている。「いいんだよ。」私はねころんだ。初冬の空にいわし雲がういていた。目をむる。原野を風が転がっていつている。こぶしが鳴っている。落ち葉が大地でこすれ合い、かわいた、かすかな音楽をかなでている。顔にはたりとしが落ちた。プールから上がったまじんべえだった。私は目を開けたくなかった。熱い鼻息がおおにかかった。しばらくして、かたくあらいくまの皮膚が、ざらりと顔をなであげる。どんべえは四つんばいになり、私に顔をこすりつけているのである。そして、たまりかねたかのように、私の横に身を投げ出し、小さくうなりつつ、何度も何度も顔をこすりつけてきた。私はこらえきれなくなり、そんなどんべえを、きつくきつくかきいだくのであった。

※ のつびきならぬ：遊むことも退くこともできず、動きがとれない。
 ※ ヒゲ：作者の弟、動物飼育の協力者。
 ※ ムツゴロウ：作者自身がつけた自分のニックネーム。
 ※ 咆哮：動物などがはなをさげぶくこと。
 ※ 肺臓をえぐるような：人の心に強い衝撃を与えるような。
 ※ くくもる：声などがこもり、はつきりしない。
 (平成年度版 東京書籍「新しい国語」1 畑 正憲 「対決」による)

七

線部⑥「私は目を開けたくなかった。」という表現について、あるクラスで次のような話し合いを行いました。次の線部の() について、文章中の言葉を使って、解答欄に合うように書きなさい。

坂口 どうして「私」は目を開けたくなかったのかな。

平野 自分に攻撃をしてきた「どんべえ」を許せなかったのかもしれないね。

水瀬 そうではないと思うよ。なぜなら、「どんべえ」が()

「私」は()

坂口 なるほど。どうも怒っていたわけではなさそうだね。

水瀬 「私」は、ほっとした気持ちでねころんでいんだと思う。

坂口 そうだね。風や自然の音を感じながら、たくさんの感情を味わっていたのではないかな。他にも考えられる理由はないかな。

平野 本文に「子別れの儀式」とあるから、「どんべえ」の成長をじつとかみしめていたのかもしれないね。

<改善のポイント>

本問の正答率は35.5%、無答率は21.8%でした。〔第1学年〕「C 読むこと(2)」の言語活動例の一つである「イ 小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動」と関連している問題です。

文学的文章においては、どの描写とどの描写とを結び付けて考えるかによって、さまざまな解釈ができます。授業では、目標を実現するために適した言語活動を設定し、文章の記述を根拠に解釈したり、他の読み手の解釈と比較したりする学習過程を仕組むことが大切です。例えば、本問のように文章を読んで疑問に思ったことや印象に残ったことなどを伝え合ったり、文章にまとめたりすることが考えられます。

正答率(%)

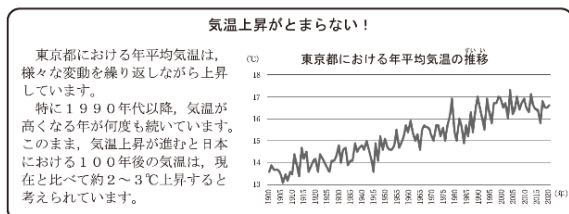
県	35.5
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

9 (2) データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断する **重点課題**

・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題です。

9 新聞を読んでいた桜さんと守さんは、下のような気温上昇に関する記事を見つけた。



記事を読んだ2人は、自分たちが住む町の気温がどのように変化しているのかについて調べることにしました。そこで、2020年の1年間における1日の平均気温の記録を調べ、度数分布表にまとめました。

平均気温の度数分布表

平均気温 (°C)	度数 (日)	累積度数 (日)
以上 未満		
0 ～ 5	0	0
5 ～ 10	12	12
10 ～ 15	71	83
15 ～ 20	74	157
20 ～ 25	66	223
25 ～ 30	99	322
30 ～ 35	42	364
35 ～ 40	2	366
合計	366	

次の(1)、(2)の各問に答えなさい。

(1) 桜さんと守さんがまとめた度数分布表について、正しく述べていないものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 度数分布表の階級の幅は5℃である。
- イ 小さい方から100番目の記録は、15℃以上20℃未満の階級にふくまれる。
- ウ 最頻値は、12.5℃である。
- エ 中央値は、20℃以上25℃未満の階級にふくまれる。

(2) さらに、桜さんと守さんは、2000年の記録を調べて、2020年の記録と比較することにしました。2000年の1年間の1日の平均気温の記録を調べて整理した後に、2人は次のような会話をしています。

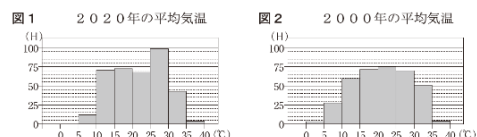
桜さん 「2020年と2000年のそれぞれの記録の平均値を求めたら、下のようになったよ。」

	2020年	2000年
記録の平均 (°C)	21.6	21.3

桜さん 「2020年と2000年の記録の平均はあまり変わらないね。だから、2020年は、20年前の2000年に比べて1日の平均気温が上昇しているとはいえないね。」

守さん 「平均値だけで判断してもいいのかな。ヒストグラムを作って、データの分布の様子を調べてみようよ。」

【守さんが作ったヒストグラム】



守さん 「2つのヒストグラムの特徴を比較すると、『2020年は、20年前の2000年に比べて1日の平均気温が上昇しているとはいえない』という考えは適切とはいえないのではないかな。」

守さんが適切とはいえないと主張する理由を2つのヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。

<改善のポイント>

9(2)の問題は、平均値が代表値としてふさわしいかどうかをデータの分布の様子から検討し、判断する場面を設定しました。正答率は34.9%に留まり、令和3年度に出題した同趣旨問題の正答率43.9%を大きく下回りました。また、無答率も25.6%と高く、継続課題と捉えています。

指導に当たっては、データに基づいて問題を解決する過程において、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断するとともに、その理由について説明し合う場面を設定し、自分が判断した事柄とその根拠を、データの分布の特徴に基づき説明できるようにすることが大切です。 【読解力育成に関連する視点：具体例同定、推論 P14参照】

正答率 (%)

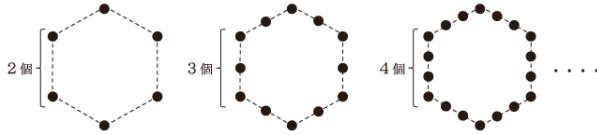
県	34.9
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

6 (2) 問題解決の方法を数学的に説明する

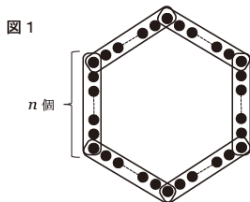
・与えられた説明を参考に、考え方を変えた場合について、問題解決の過程を数学的に説明することができるかどうかをみる問題です。

6 下のように、1辺に同じ数の碁石を並べて正六角形の形をつくります。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

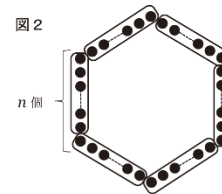
- (1) 1辺に5個ずつ碁石を並べて正六角形の形をつくる時、碁石全部の個数を求めなさい。
- (2) 図1のような囲み方をすると、碁石全部の個数は、 $6n-6$ という式で求めることができます。碁石全部の個数を求める式が $6n-6$ になる理由は、次のように説明できます。



【説明】

正六角形の辺ごとに、すべての碁石を囲んでいるので、1つの囲みに碁石が n 個ある。同じ囲みが6つあるので、この囲みで数えた碁石の個数は $6n$ 個になる。このとき、各頂点の碁石を2回数えているので、碁石全部の個数は $6n$ 個より6個少ない $6n-6$ 個になる。
したがって、碁石全部の個数を求める式は、 $6n-6$ になる。

図2のように囲み方を変えてみると、碁石全部の個数は、 $6(n-1)$ という式で求めることができます。碁石全部の個数を求める式が $6(n-1)$ になる理由について、次の【説明】を完成させなさい。



【説明】

正六角形の辺ごとに、1つの頂点以外の碁石を囲んでいるので、

したがって、碁石全部の個数を求める式は、 $6(n-1)$ になる。

<改善のポイント>

6(2)の問題は、与えられた説明を振り返り、碁石の囲み方を変えた場合について説明する場面を設けました。正答率は31.5%に留まり、無答率は、本調査問題において最も高い25.9%となりました。問題文と図を対応させながら問題の状況を捉え、解決に必要な情報を正しく読み取れなかったことが理由として考えられます。

指導に当たっては、まず、問題文や式の数量が図のどの部分に対応するのかを丁寧に確認しながら問題理解を促すことが必要です。さらに、解決の過程を説明させる際には、説明に必要となる用語を確認したり、モデルを示したりすることも有効です。

また、問題が解決したら終わりではなく、問題の条件を変えて考察したり、解決の過程を振り返って共通の性質を見いだしたりする場面を設定することで、統合的・発展的に考察させることが大切です。 【読解力育成に関連する視点：イメージ同定、推論 P14 参照】

正答率 (%)

県	31.5
市町	
自校	

<自身の授業改善のポイント>

3 6つの問題分野（特に、「係り受け解析」「照応解決」「イメージ同定」「具体例同定」）を日頃の授業づくりの視点に加える。

6つの問題分野（6分野7項目）を日頃の授業づくりの視点に意識して加え、読解力の育成を図ることが大切です。

係り受け解析	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が意図的に主語や述語、目的語などを問う。 P8（小国）
照 応 解 決	<ul style="list-style-type: none"> ・「それ」「これ」などの、指示代名詞が示す言葉や内容について、線を引くなどして読み取らせ、全体で確認する。 P8（小国） P9（中社） ・省略された主語や目的語を補うように指示する。
同 義 文 判 定	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の意見や考え方が同じかどうか、グループで話し合わせる。 P8（小理） P10（中理） ・自分の意見や考え方がモデルと同じかどうか考えさせる。
推 論	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項等を根拠として新しい知識を獲得させたり、考察させたりする。 P8（小理） P10（中理） ・文章中に書かれている内容等について、根拠を明確にして自分の考えを述べさせる。
イ メ ー ジ 同 定	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取ったことを絵や図、表などを用いて整理させる。 P7（小算） P9（中社） ・図や表、グラフから読み取ったことを、言葉や文章で表す活動に取り組ませる。 P9（中数）
具 体 例 同 定	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の定義や意味を正しくおさえた上で、考えたり話し合ったりする活動に取り組ませる。 P9（中数） P10（中理） ・様々な事例や自分の書いた文章が、定義に合っているか確認させる。

次ページから、6つの問題分野（6分野7項目）を視点に加えた授業実践事例を紹介します。



特別な取組を始めるのではなくて、普段の授業で使っている言葉を見直したり、これまでの手立てに読解力育成の視点を加えたりしていけばいいですね。

上記表中のページ番号は、「長崎県読解力育成プラン」中のページ番号を表す。

5 各教科の設問別正答率

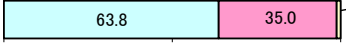
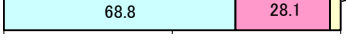

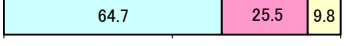
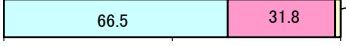
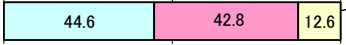
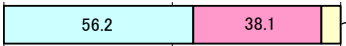
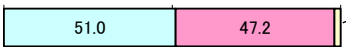
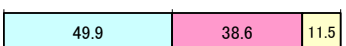
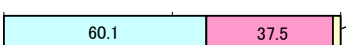
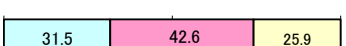
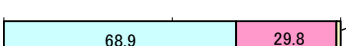
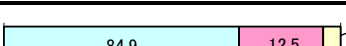
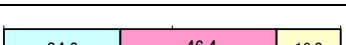

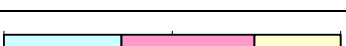
＜小学校国語＞

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	一	【スピーチ】の構成についての説明として適切なものを選択する	話の中心が明確になるよう話の構成を考える	72.9 25.6 1.5
	二	【ア】に入る内容について【グループの話し合いの様子】を踏まえて、どのように話すかを書く	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら話す	33.7 53.1 13.2
	三	スピーチの練習の様子を撮影した動画を見る目的として適切なものを選択する	話の中心や話す場面を意識して、話し方を工夫する	68.2 29.4 2.4
	四イ	漢字を読む イ 栄養	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく読む	94.3 3.1 2.6
	四ウ	漢字を読む ウ 人気		94.2 3.3 2.5
2	一(1)	【物語の一部】の中の――部アで、----部「止まっていた」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉える	71.8 26.5 1.7
	一(2)	【物語の一部】の中の――部エで、----部「大きな」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係を捉える	77.5 20.6 1.9
	二(1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える	75.3 22.5 2.2
	二(2)	「ぼく」が困った理由の説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える	72.1 25.4 2.5
	三	【川田さんの文章】の【ア】に入る内容として適切なものを選択する	登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像する	56.6 40.4 3.0
3	一	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える	68.3 28.2 3.5
	二	【ぼうさい新聞】の【ウ】に入ることわざについて書かれたカードとして適切なものを選択する	ことわざの意味を知り、正しく使う	74.4 21.2 4.3
	三ア	漢字を書く ア はっせい	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく書く	61.7 27.8 10.5
	三イ	漢字を書く イ ひつよう		68.1 22.9 9.0
	四	【ぼうさい新聞】の【 】の部分【木村さんのメモ】を用いて書き直す	理由を明確にして、書き表し方を工夫する	51.3 38.0 10.7

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)	
1	(1)	前に3人、後ろに4人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を表した図を選ぶ	示された場面を読み取り、数量の関係を適切に表した図を選択することができる	92.8 6.9 0.3	
	(2) アイウ	$125 \times 8 + 75 \times 8$ の計算を分配法則を用いて求める	整数の計算に関して、分配法則を活用して計算を簡単に行う工夫をすることができる	70.6 27.3 2.1	
	(3)	切り上げて計算した結果が1000であることから分かることを選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	85.3 13.6 1.2	
	(4)	ア	お茶の量を分数で表すときに、基にしている量を書く	分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを理解している	64.8 32.7 2.5
		イ	1Lを5等分した1つ分のお茶の量を分数で表す		53.0 44.0 2.9
(5)		$2/7 + 6/7$ の計算の仕方を書く	単位分数の個数に着目して、同分母の分数の加法の計算の仕方を記述できる	72.8 21.7 5.4	
2	(1)	長さ、重さ、かさについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	任意単位による測定について理解している	73.7 24.9 1.4	
	(2)	①	タワーの高さと市役所の高さの関係を正しく表している図を選ぶ	数量の関係を図を用いて表現することができる	75.5 23.1 1.4
		②	タワーの高さは市役所の高さの何倍にあたるかを求める式について、正しいものを選ぶ	ある量の何倍かを表すのに小数を用いてよいことを理解している また、倍の求め方について理解している	79.2 19.5 1.4
	(3)	2時間20分は何分であるかを書く	時間の単位について理解している	85.5 12.6 1.9	
3	(1)	表のピングの欄に入る数を書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	89.1 9.4 1.5	
	(2)	調査結果の表から、全員の希望が一つは通るように遊びを選ぶ	分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる	30.8 67.1 2.1	
	(3)	3年生と5年生が希望する遊びの多少を調べるための棒グラフを選ぶ	目的に応じて棒グラフを選択することができる	87.9 9.8 2.4	
	(4)	松ぼっくりを使う5年生の人数を、二次元表から読み取って書く	示された場面において、目的に応じてデータを読み取り記述できる	63.2 28.2 8.6	
4	(1)	平行な直線を引く方法として、正しくないものを選ぶ	平行な直線の性質を理解している	54.8 41.8 3.3	
	(2)	ひし形と平行四辺形に共通する性質を選ぶ	ひし形と平行四辺形の性質を理解している	58.8 37.7 3.4	
	(3) アイ	縦に並ぶ柵の数と横に並ぶ柵の数を表に書く	縦に並ぶ柵の数と横に並ぶ柵の数の関係に着目し、その関係を表に表すことができる	91.4 4.0 4.7	
	(4)	縦に並ぶ柵の数と横に並ぶ柵の数の関係について、□と○を用いて表した式を書く	数量関係に着目し、□と○を用いて、その関係を式に表すことができる	44.2 46.3 9.4	
	(5)	犬の遊び場が正方形の形のときの面積を求める式と答えを書く	正方形の面積を求めることができる	50.7 41.2 8.1	

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	(1)	ツルレイシの発芽の条件として正しいものを図から読み取り選択する	ツルレイシについて提示された情報を基にして、発芽の条件について分析・解釈することができる	49.4 50.3 0.2
	(2)	ツルレイシの種子をまく適切な時期を選択する	追加された情報を基にして、種子をまく適切な時期について分析・解釈することができる	47.8 51.9 0.2
	(3)	ツルレイシの成長の違いの条件について正しいものを選択する	実験結果を基にして、ツルレイシの成長の違いである条件について分析・解釈することができる	88.6 11.2 0.1
	(4)	ミツバチの体のつくりとして正しいものを選択する	昆虫の体のつくりについて理解している	64.3 35.5 0.2
	(5)	ミツバチによる受粉の仕方について考えを記述する	ミツバチがおしべの花粉をめしべに運んで受粉させることを理解している	53.5 42.2 4.3
2	(1)	鉄棒の下の水たまりがなくなっていく現象についてその理由を記述する	水は、地面にしみこんだり、水面や地面から蒸発したりすることを理解している	83.7 13.5 2.8
	(2)	水たまりのでき方について調べる方法から得た実験結果として適切なものを選択する	水たまりのでき方について、観察した記録を基にして、考察することができる	68.9 30.8 0.3
	(3)	実験結果を基にして、「分からないこと」を選択する	実験結果を基にして、「分かること」「分からないこと」について分析・解釈することができる	74.5 25.3 0.2
	(4)	大雨による洪水を防ぐ施設に共通する働きについて記述する	洪水を防ぐ施設の共通点を見いだすことができる	69.5 26.4 4.1
3	(1)	電磁石に方位磁針を近づけた時のN極、S極の向きとして正しいものを選択する	提示された事象から、電磁石の極と方位磁針の向きを関係付けて考えることができる	39.7 59.6 0.7
	(2)①	2つの回路の名称を記述する	直列つなぎと並列つなぎを理解している	82.0 15.7 2.3
	(2)②			75.0 21.3 3.7
	(3)	実験結果と予想を基にして、電磁石の磁力を強くする実験と、正しい予想の組み合わせを選択する	実験結果と予想から、電磁石の磁力を強くする方法を検討・改善することができる	47.1 51.4 1.5
4	(1)	実験結果を基に考察し、「ピンポン玉がもとの形にもどったわけ」を記述する	実験結果を基にして、空気を温めると体積はどうなるのかについて分析・解釈することができる	49.3 46.7 4.0
	(2)	容器に閉じ込めた空気を押し縮めたときのいちばん大きい手ごたえを選択する	容器に閉じ込めた空気を押し縮めたときの手ごたえの違いについて分析・解釈することができる	62.0 37.0 1.0
	(3)	梱包シートの役割について、適切な言葉を選択し記述する	梱包シートは、空気の性質を生かして利用されていることを表現することができる	79.5 19.3 1.1

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)	
1	一	スピーチに対する気付きを指摘する	相手の話の内容を捉え、自分の考えをまとめる	83.0 16.8 0.2	
	二	スピーチに対する適切な助言を考える	話題や展開を的確に捉え、自分の考えを伝える	69.5 30.2 0.2	
	三	(1)	適切な故事成語を選ぶ	文脈上の意味に注意し、適切な故事成語を選択する	73.8 25.8 0.3
		(2)	スピーチにおける効果的な表現方法を考える	自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す	51.2 30.7 18.1
2	一	主語と述語の関係を捉える	文の中での語句の係り方を考える	46.1 53.2 0.7	
	二	慣用句の意味として適切なものを選ぶ	文脈上の意味に注意し、適切な慣用句を選択する	78.5 21.1 0.5	
	三	ア	登場人物の心情を捉える	登場人物の相互関係や心情の変化などについて、描写を基に捉える	65.5 21.2 13.2
		イ	登場人物の心情を捉える	登場人物の相互関係や心情の変化などについて、描写を基に捉える	28.6 53.4 18.0
	四	その場面における登場人物の行動の理由を捉える	登場人物の相互関係や心情の変化などについて、描写を基に捉える	54.9 27.7 17.4	
	五	I	漢字を書く(アビせられる)	文脈に即して漢字を正しく書く	49.9 19.8 30.2
		II	漢字を読む(逆立てる)	文脈に即して漢字を正しく読む	78.8 17.1 4.1
		III	漢字を書く(チョウテン)	文脈に即して漢字を正しく書く	80.5 11.4 8.1
	六	(1)	比喩の意味や用法を理解する	表現の技法について理解する	41.4 38.0 20.7
		(2)	比喩が使われた表現を選ぶ	表現の技法について理解する	64.8 32.3 2.9
七	登場人物の様子を捉える	各場面と登場人物の行動や情景等の描写とを結び付けて、内容を解釈する	35.5 42.6 21.8		
3	一	文章の構成を考える	相手や目的に応じて、文章の構成を工夫する	56.5 42.4 1.1	
	二	文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	叙述の仕方を確かめて、文章を整える	83.3 15.6 1.0	
	三	(1)	読み手の助言の意図を考える	読み手の助言を踏まえ、自分の表現の参考にする	56.9 41.0 2.1
		(2)	資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きに書き加える	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く	37.8 44.2 18.0

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	(1)	$6 - 4 \times (-3)$ を計算する	簡単な四則計算ができる	
	(2)	与えられた10個の数から素数をすべて選ぶ	素数の意味を理解している	
2	(1)	一元一次方程式 $1/2x = -x + 6$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	
	(2)	ある博物館に大人 x 人、中学生 y 人で入館したときの入館料の合計を表す等式をつくる	数量の間の関係を等式で表すことができる	
3	(1)	$\triangle ABC$ を対称移動させたとき重ね合わせることができる三角形を選ぶ	対称移動について正しく理解している	
	(2)	円錐の側面のおうぎ形の弧の長さを求める	円錐の側面のおうぎ形の弧の長さを求めることができる	
4	(1)	比例の表から式を求める	比例の表から x と y の関係を表すことができる	
	(2)	反比例 $y = 8/x$ について正しく述べていないものを選ぶ	反比例の x と y の値の関係を正しく理解している	
5	(1)	家庭学習時間についてまとめたヒストグラムから150分以上180分未満の階級の相対度数を求める	ヒストグラムからある階級の相対度数を求めることができる	
	(2)	家庭学習時間についてまとめたヒストグラムから最頻値を求める	ヒストグラムから最頻値を求めることができる	
6	(1)	正六角形の1辺に5個ずつ基石を並べたときの基石の総数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	
	(2)	正六角形の1辺に n 個ずつ基石を並べたときの基石の総数を表す式が $6(n-1)$ になる理由を説明する	与えられた説明を参考に、問題解決の方法を数学的に説明することができる	
7	(1)	$\triangle ABC$ の頂点 A から辺 BC にひいた垂線の作図について、正しく述べたものを選ぶ	垂線の意味を理解している	
	(2)	図書館を建設する地点を作図によって求める方法について説明する	条件を基に、問題解決の方法を数学的に説明することができる	
8	(1)	A車が8Lのガソリンで走行する距離を求める	与えられたグラフなどから、必要な情報を読み取ることができる	
	(2)	A車とB車について、300km走行するときに必要なガソリンの量の差をグラフを用いて求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	
9	(1)	平均気温の度数分布表について正しく述べていないものを選ぶ	与えられた度数分布表から必要な情報を読み取ることができる	
	(2)	「2020年は20年前に比べて1日の平均気温が上昇しているとはいえない」という主張が適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	ヒストグラムの特徴を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	

6 各市町の状況

(県平均正答率以上の場合「+」表示)

校種	小学校			中学校	
	国語	算数	理科	国語	数学
長崎市		+	+	+	
佐世保市		+			
島原市	+	+	+	+	+
諫早市					
大村市	+	+			
平戸市	+	+			
松浦市				+	
対馬市					
壱岐市					
五島市					
西海市					
雲仙市	+	+			+
南島原市			+		
長与町	+	+	+	+	+
時津町	+	+	+	+	+
東彼杵町	+	+			
川棚町				+	
波佐見町				+	
小値賀町	+	+	+	+	+
佐々町				+	+
新上五島町	+	+	+		